

第3回 新宿区高齢者保健福祉推進協議会計画見直し部会概要

開催日時：	平成19年11月8日(木)午後6時30分～8時30分
開催場所：	区役所 6階 第三委員会室
出席委員：	6名
議 題：	1 高齢者保健福祉計画施策評価について 2 平成18年度介護保険の実績について

見直し部会の中で交わされた質問、回答、意見のまとめ

1 高齢者保健福祉施策評価について

[質問]・施策9の特定高齢者の把握というところについてお尋ねしますが、この施策は、何々の把握という、現状を把握するというのが施策になっています。この施策9の特定高齢者の把握のところは、1.106名の把握をしたとか、そういう評価になっていまして、把握してどうしていくのかという方向性がちょっと読めないというふうに思うんですが、施策の方向というのはどのようになっていくか、ご検討されていれば教えていただきたいと思います。

[回答]・施策9の特定高齢者の把握につきましては、この施策だけで自己完結するというような施策ではなくて、施策10以降さまざまな介護予防、施策10、それから施策11につなげる部分での対象者の把握というのが、この施策9の特定高齢者の把握というようにつくりになっています。

[質問]・施策10の介護予防ケアマネジメントの主な取組み・実績のところ、要支援・要介護への移行防止率というのが非常に高く、計画値を大きく上回ったという記述があるんですけども、これは計画値そのものが見誤っていたのか、あるいは計画値を大幅に超えてこういう結果が出たということなのか、そのあたり、計画値の算定の仕方も含めて教えていただければと思います。

[回答]・計画値につきましては、当初、この仕組みというも国のほうでいろいろ示してきているようなことですので、国が示した基準というのを計画値として落とし込んでいると。それに対して実績がこのような形であったということで、率としてはかなり高い率で、結果としてはこういう形になったということでございます。

[質問]・施策17の介護予防ケアマネジメントの主な取組み・実績のところ、社会福祉協議会が高齢者の資産活用事業の取組みをしたということなのですけども、具体的にはどんなイメージのことなのですか。

[回答]・高齢者の資産活用事業(リバースモーゲージ等)ということでございます。実際に実施しているのは社会福祉協議会の独自事業ということで、18年度実績では、利用者3名に対して金融機関融資総額としては285万円の実績がございました。

- [質問]・施策2 1 緊急時等の安全・安心の確保で、悪質商法被害防止ネットワークとありますが、これは現在どのような団体が参加されてどういう組織になっているのですか。
- [回答]・この悪質商法被害防止ネットワークにつきましては、昨年立ち上げました虐待防止のネットワーク、こと構成員についてはほぼかぶるような形だということで、一体として運営しようというようなところがございました。メンバーとしましては、区内の警察、それから区内の医療関係の方々、病院等ですね。それからあと区内の介護事業者、それから私どもの区の中でも福祉部門だけではなくて、消費生活関係につきましては地域文化部というところに担当の課長がおりますので、その部署が実質的には中心になって取り組んでいるということで、こういった部署からの参加ということもございまして、かなり横断的な部分でのメンバー構成という形になっております。
- [質問]・施策2 4 虐待防止の促進の主な取組み・実績のところ、老人福祉法に基づく入所措置や、やむをえない事由による措置とありますが、その件数と中身について教えてください。
- [回答]・お尋ねの措置による入所については、特別養護老人ホームが5件、それから養護老人ホームへの入所措置が3件というような状況でございます。虐待については、主に家族からの虐待ということでございます。
- [質問]・施策2 5 介護者の支援の主な取組み・実績のところ、一定要件を満たす要介護者を1年間介護保険サービスを使わずに介護したという記載があるんですが、このサービスを使わなかったということについては、どういう評価をされていますか。また、家族介護慰労金というのは具体的にはいくらぐらいになるのでしょうか。
- [回答]・この事業は、要介護4または5で、この1年間、短期入所を除いて使わなかったという方に対して10万円を支給するものです。対象は、市町村民税非課税という低所得の方です。また、評価についてですが、介護保険サービスをできるだけ使っていただいて、家族が介護するというのではなくて保険の中での対応をしていただきたいと考えているわけですが、ご家族の中には、思いが強くて自分で介護したいというふうに思われたり、そういった行動をされる方もいらっしゃるもので、そういった方に対して一定の金銭的な慰労金の支給を行っているところで。
- [質問]・各施策ごとに非常に詳しい実績評価、課題というものが出されていて、非常に評価できると思うんですが、この計画全体があり、目標が7つあって、それぞれ施策があるということなんですが、一つ一つの目標について全体的にどういう評価をされるのかという問題と、計画全体について総合的にどう評価されるのか、その辺のところはまだ検討はされていないのでしょうか。
- [回答]・計画全体の総合評価ということですが、進行管理ということで中途評価ということをやっております。ある程度全体的な結論を出すためには、計画期間の3年間を経過しないと難しく、特に制度変更があったばかりですので、なかなか評価するのが難しいと思っています。
- [意見]・他区では、高齢者に対するインフルエンザワクチンの接種と同時に肺炎球菌ワクチンをお勧めして、またそれに対する助成をしているという区が結構出ているんです。
インフルエンザワクチンとの併用効果が非常に期待されていて、肺炎球菌ワクチンは5年ないしは8年もしくは一生に1回という程度にしか打たないということで、市中肺炎の約50%くらいを予防できると、これはデータによって大分変わりますが、そのあたりが高齢者の保健福祉推進事業において議論させていただければと思います。

2 平成18年度介護保険の実績について

[質問]・23区の高齢者人口・認定者数のところで、新宿区の場合、要介護認定者の比率が高く2番目だということです。これはどこが高くなっているのか。例えば要介護度別に見たときに、要支援の人が多いのか、低いほうに比べてどういう傾向になっているのかということがわかりますか。

[回答]・全国や東京都内の状況を分析したものがありますが、要介護の構成は、他の自治体と比較しても大きな違いはありません。認定率だけが高く、その原因が何なのかは、わかりません。認定審査会の運営はきちんとやっていたという認識を持っていて、認定が甘いということについては考えてはおりません。

[意見]・認定率がなぜ高いかということの分析が、必要なのではないのでしょうか。

[意見]・認定率が高いところは千代田区とか新宿区とか渋谷区、世田谷区、区の財政が比較的豊かそうところが並んでいて、認定率が低いところはそれと逆の地域性が見られるといったような感じが見受けられます。特に新宿区が緩やかにやっているという意味ではないんですけども、逆に財政が厳しいところは、かなり締めつけて認定しているのかなとちらっと思ってしまう。地域の財政状況というものが何らかの影響を及ぼしているのではないかというような印象を受けました。

[意見]・介護保険のデータには、介護保険のサービスを利用したら要介護の改善率がどの程度防げたとか、そういうデータが全くないので、そういうデータが非常に欲しい。

[意見]・どれだけ介護保険サービスを利用したから改善したかというのは、非常に難しい。介護保険サービスの評価は、どこまで自宅で暮らすことができたかだと思います。サービスを使うことによって自宅で暮らすことができる、それがどこまで続いたかという、例えばホームヘルプサービスを使ったから要介護度は改善するというものではない。また、費用対効果という、どれだけ使って、その人の生活の質がどうなったかということ、これはなかなか評価は難しいけれどもあると思うんですね。けれども要介護度は改善するという出し方ではない。評価は、在宅生活をどこまで継続できたかということではないかと思います。